

プロフェッショナルバスケットボールチーム
アースフレンズ東京Zのご案内



株式会社GWC

B.LEAGUEから世界へ。

東京から世界に通用する人財を育成し、NBA選手を誕生させたい。
あらゆる垣根を超えて人と人が繋がっていく
ダイバーシティ社会の一助となれるようにチャレンジしていきます。

夢を現実に ～イメージが現実になっていく～

バスケットボールに夢中になり始めたきっかけは、知人の経営者に紹介され1冊の本を読んだこと。
その書名は平山譲著「ファイブ」。
それからバスケット観戦に没頭し、その面白さに魅了される。

小さな選手がスターになれること、誰でもシュートが打てること、展開がスピーディーで興奮することなど。
野球やサッカーなど、日本の他のメジャースポーツとは違う楽しさがそこにはある。
こんなにワクワクするスポーツがあったとは！

サッカーの1.8倍、4億5,000万人の競技人口という世界No.1の大きな市場を有しているバスケットボール。
男女が慣れ親しんでおり、青春時代の華型スポーツでもあり、日本国内でも競技人口が圧倒的に多い。
バスケットボールのスポーツとしての魅力、秘めた可能性を感じ、
この日本でバスケットボールをメジャーにするために、自らチームを設立し、全くの「ゼロ」から創業。

日本プロスポーツ界でも稀な、個人オーナーから始まったチームとして、名だたる大資本に挑む。「やればできる」を証明したい。

ミッション・ビジョンを形にして、バスケットボール界に貢献したい。
ベンチャー企業として、新しい様々なチャレンジをしていきたい。
多くの子供たちの憧れになり、スポーツを通じて素晴らしい人財を育成していきたい。
私たちの活動を通じて人と人がつながり、
障がい・人種・性別・貧困などのあらゆる垣根を超えて、フラットな社会作りの一助になりたい。
そんな想いから、現在に至っています。

日本バスケットが世界の舞台で活躍することが重要

日本代表が世界で勝利すること 世界に通用する日本人選手を輩出すること

日本のバスケットがメジャーとなるために、この2点を実現します。

最初に私たちが目指す目標は、

B1昇格。

B1優勝、日本一達成。

また、来年2020年東京オリンピックに我がアースフレンズ東京Zから日本代表選手を輩出することです。

しかしながら、これらは最終ゴールではありません。

大田区総合体育館をホームアリーナとして城南エリアを中心とした東京をホームタウンとする我チームから、世界を相手に戦える選手を輩出し、日本代表が世界で勝利することが、最初に目指す大きな夢の実現です。そのためにチームが一体となって世界に通用する人財に成長することが重要だと考えています。

創設から5年が経ち、ある一定の基盤は構築されてきた中で、

チーム一丸となって次のステージに向かって本気で挑みます。

バスケットボールを夢のあるスポーツにするために。

大きな目標達成のために大切なのは、今日という日に一歩前進するのかどうか。

足元をしっかり固めていくことです。

まず、B1昇格を果たし、ファンのみなさまと喜びを分かち合いたいと思います。

みなさまのご支援、ご声援がすべての原点であり、私たちにとっての最高のエネルギーです。

共に、夢を実現させていきましょう。

アースフレンズ東京Z運営会社
株式会社GWC
代表取締役

山野 勝行



アースフレンズ東京Zとは

「アースフレンズ東京Z」の由来

スポーツには、人と人を繋げていく力があります。

競技中は敵同士であっても、試合が終われば共に何かを成し遂げたような一体感が生まれる。
競技者だけではなく、それを応援する人や支える人も善意によって一つになっていく。
スポーツによって人と人が理解しあい、国と国が繋がっていく。

私たちは、全ての方々がスポーツについて、『観る』『プレーする』『支える』ことを
楽しむことにより、多様な価値観が共存していく「ダイバーシティ社会」実現の力になりたいと考えています。

その想いを表す言葉として、「アースフレンズ」というクラブ名が誕生し、
「Z」には、アルファベット自体に「究極」という意味があり、
我々のコミュニティから、世界で活躍できる最高の人財を輩出していくという意味がこめられています。

活動理念

世界で戦えるプレーヤーを生み出す育成システム

私たちは、世界を目指すプレーヤーを生み出すため、これまで培われてきた学校教育の中でのバスケットボール指導
とも連携しながら育成からトップまで一貫した哲学・プレイスタイル・方法論に則った、独自のメソッドを創り、普
及させたいと考えております。

NBAなどの海外トップリーグへ挑戦していく人材を積極的に輩出し、
世界で戦っていけるプレーヤーを輩出していきます。

ミッション

日本代表が世界で勝利することに貢献する
世界で活躍する日本国籍選手を輩出する

アースフレンズ東京Z 沿革

沿革

- 2009年11月 ファン作りのための練習会である「わいわい練習会」をスタート
- 2011年 1月 アマチュアトップチーム「バリバリチーム」を創設
- 2011年 3月 東日本大震災により一時的に活動が停止。チャリティ活動「Cheer up Japan！」を開始
- 2011年 8月 「アスフレスクールチーム」1期がスタート
- 2011年11月 小学校・児童館へのコーチ派遣を開始
- 2012年 8月 「Cheer up Japan！」で集めた義援金を宮城県のバスケットチームYBCに寄付
- 2012年10月 一般社団法人スポーツコミュニティジャパンを設立
- 2013年 8月 「バリバリチーム」が神奈川県クラブ選手権優勝を達成、全国ベスト16まで進出
- 2013年 8月 日本バスケットボール協会公認「NBL」の育成リーグ「NBDL」に参入決定
- 2013年11月 トップチーム運営母体として、株式会社GWCを設立
- 2014年 1月 プロチームの名称が『アースフレンズ東京Z』に決定
- 2014年10月 NBDL開幕 新規参戦
- 2016年 9月 B.LEAGUE開幕
大田区総合体育館をホームアリーナとして、B2・中地区に参戦
- 2017年 5月 B2・中地区 6クラブ中3位（27勝33敗）
- 2018年 5月 B2・中地区 6クラブ中6位（20勝40敗）
- 2018年 8月 B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2018 3位
- 2019年 3月 B.LEAGUE U15 CHALLENGE CUP 2019 優勝
- 2019年 4月 B2・中地区 6クラブ中4位（22勝38敗）
- 2019年 5月 3x3.EXE PREMIER参入

「B.LEAGUE」誕生

「B.LEAGUE」誕生…そして今

相次ぐチームの経営破綻、2リーグ分裂、日本バスケットボール協会（JBA）の国際資格停止の処分…。

未来を描くことができなかった日本バスケットボール界が2016年秋、プロバスケットボール新リーグ開幕を機に夜明けを迎えました。

JBAを頂点としたガバナンス機能、選手プレー環境の向上、アリーナ活用を通じた地域活性化、競技力の向上、デジタルメディアを活用した新たなプロスポーツの確立。

八村類・渡邊雄太など、本場アメリカで活躍する選手らと共に2019年W杯への出場を果たし、そして1976年より遠ざかってきた男子のオリンピックに、2020年に44年振りに出場することが決定いたしました。

2005年

JBA傘下の日本リーグ（JBL）とは別に、完全プロ化を目指した独立リーグ「bjリーグ」が設立

2008年

国際バスケットボール連盟（FIBA）が日本に2リーグ併存を問題視

2014年11月

FIBAがJBAに対し「国際資格停止」の処分（事実上の制裁）を通達

2015年4月

一般社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ（JPBL）設立

2015年8月

2リーグ分裂状態が解消される動き等が評価され、FIBAは国際資格停止の処分を正式解除

2015年9月

女子代表がリオ五輪予選を兼ねたFIBA ASIAで優勝、団体競技最初の出場決定

2016年9月

野球・サッカーに次ぐ日本3番目の団体競技プロスポーツとして「B.LEAGUE」開幕

B.LEAGUE トップパートナーに
ソフトバンク！

SoftBank



メディア露出が増えます



B.LEAGUEは全国34都道府県46クラブで編成

B.LEAGUE 2019-20 SEASON -B1-

東地区



中地区



西地区



B.LEAGUE 2019-20 SEASON -B2-

東地区



中地区



西地区



NHK、フジテレビの他に
インターネット中継（DAZN）や
YAHOOなどで全試合を中継。

アースフレンズ東京Zは
B.LEAGUE 2部リーグ（B2）に
参入

その他 B3 10チーム

地元行政との協働（ホームタウン）

ホームタウン（大田区）

2015年9月に大田区観光PR特使に任命。

2016年ホームアリーナである大田区総合体育館を所有する
大田区とホームタウン協定を締結。



松原大田区長と山野代表取締役



地元商店街への
チームロゴタペストリー掲出

- ・蒲田東口商店街
- ・あやめ商店会
- ・蒲田本町商店会
- ・久が原末広通商店会
- ・萩中通り商店会
- ・蒲田西口商店街
- ・東邦医大通り商店会
- ・大森町共栄会
- ・ハッピーロード尾山台



地元商業施設との連携

- ・東急プラザ蒲田
- ・グランドデュオ蒲田

ホームアリーナ 大田区総合体育館

都内でも有数の規模・設備を誇る、大田区総合体育館をホームアリーナとして活動しています。



席数・・・4,012席（固定席2,186席、車いす席10席、可動席1,816席）

アースフレンズ東京Zのポテンシャル - バスケットボール競技者人口と観戦意向

チームは、大田区71万・世田谷89万・品川38万・目黒27万＝合計225万人のエリアが主な活動地域です。そのエリア内で社会貢献活動を通して、地域発展のお役に立つ事を目指しております。

バスケットボール競技者人口と観戦意向者数

全世界で競技者人口はサッカーより上の世界一、日本での競技者登録人口はサッカーに続き2番目。

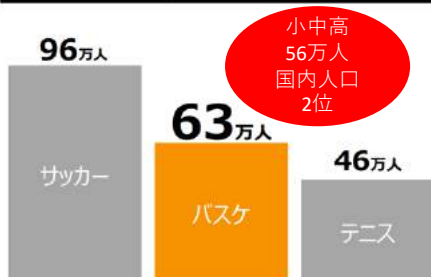
全世界での競技者人口 1 位
(男女総計)



【出典】FIBA/FIFA/スポーツ・マーケティング・サーベイ

「競技者」はサッカーの60%、

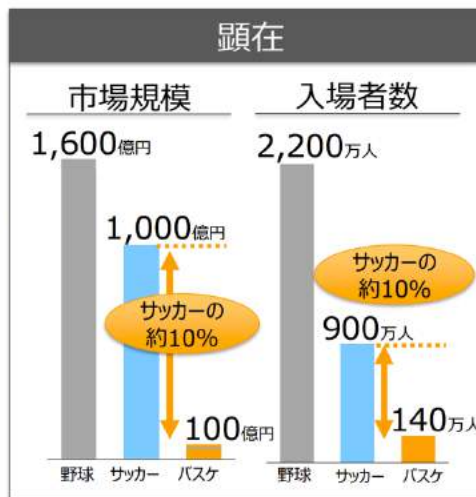
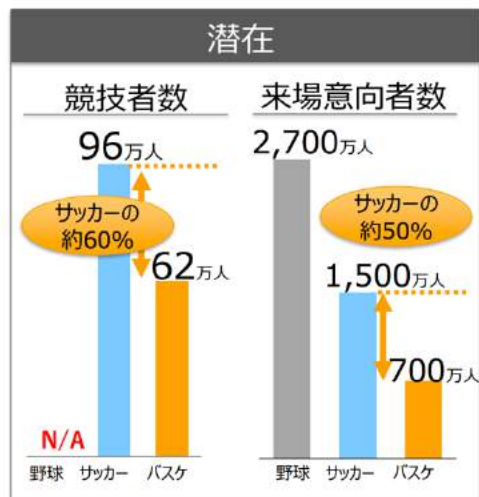
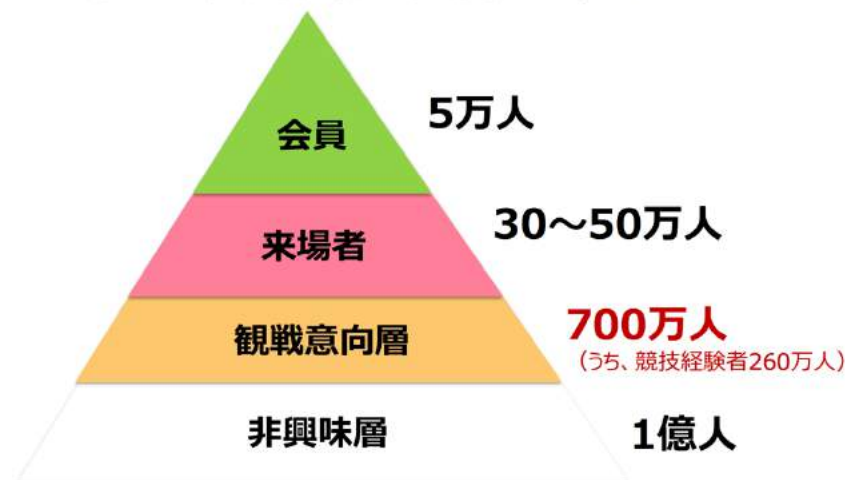
国内での競技者登録人口 2 位
(男女総計)



【出典】JFA/JBA/笹川スポーツ財団

「事業規模はサッカーの10%」

全国にバスケ観戦意向者数は約700万人



男性が観戦したいスポーツ

10代	20代	30代
12.8%	11.7%	9.9%

女性が観戦したいスポーツ

10代	20代	30代
17.5%	9.4%	6.9%

観戦意向は若い世代で高く、日本の新たな観戦スポーツとしての可能性を秘めています。

アースフレンズ東京Zのポテンシャル - ホームゲーム入場者数

ホームゲーム入場者数

<2016-17>

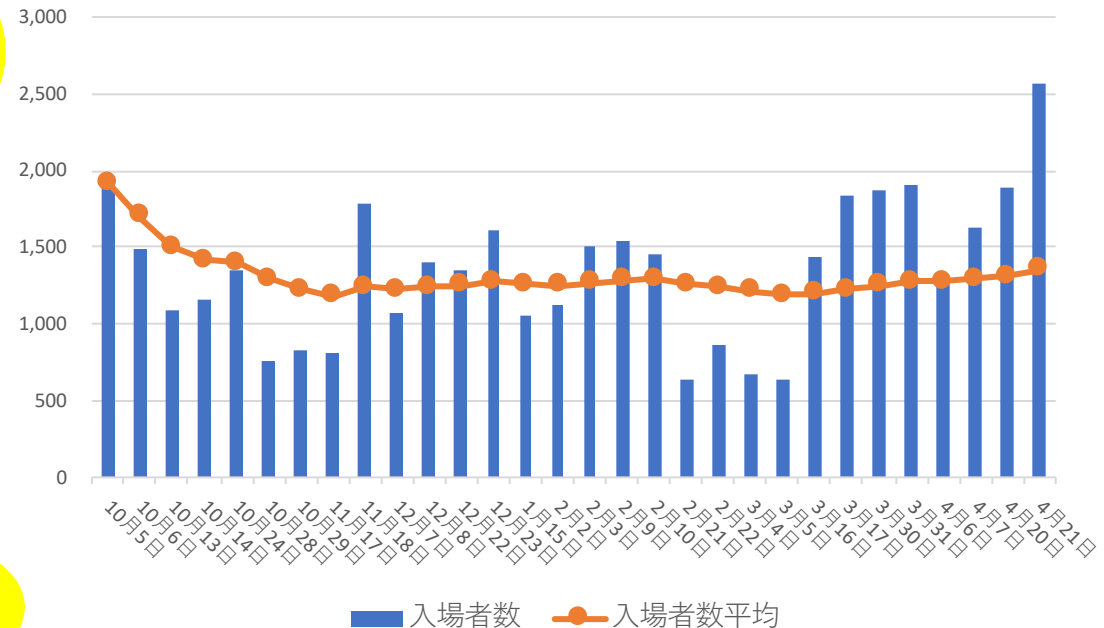
入場者数 昨対比ランキングTOP10

順位	チーム名	昨対比
1	アースフレンズ東京Z	267.7%
2	川崎プレパサunders	244.0%
3	名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	195.8%
4	Fイーグルス名古屋	179.1%
5	滋賀レイクスターズ	168.6%
6	東京エクセレンス	167.0%
7	横浜ビー・コルセアーズ	165.0%
8	京都ハンナリーズ	154.3%
9	茨城ロボッツ	137.6%
10	広島ドラゴンフライズ	137.2%

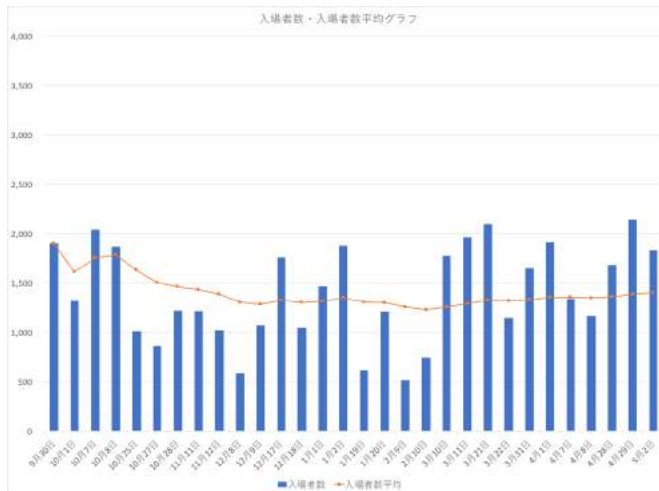
昨対比伸び率
B1・B2
全36クラブ中
リーグ #1 !
267.7%

2016-17 最終節
観客数 記録更新 !
5/6 (土) 3,253人
5/7 (日) 3,635人

<2018-19> 入場者数・入場者数平均グラフ



<2017-18>



昨対比
128.7%

2017-18
平均入場者数
1,401名

大田区総合体育館
開催試合
平均入場者数
1,521名

2018-19 最高動員数
4/21(日) 2,571名 (昨対120.4%)

2018-19 平均入場者数
1,351名

大田区総合体育館開催試合
平均入場者数
1,479名

大田の歓喜 !

残り21.7秒で
最大26点差からの
大逆転 !

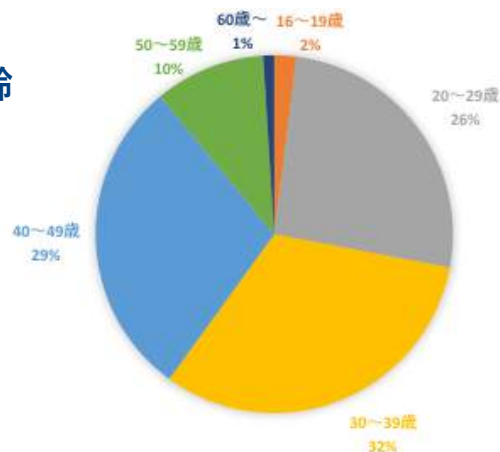
アースフレンズ東京Zのポテンシャル - チケット購入者属性/ファンクラブ

チケット購入者属性

性別



年齢

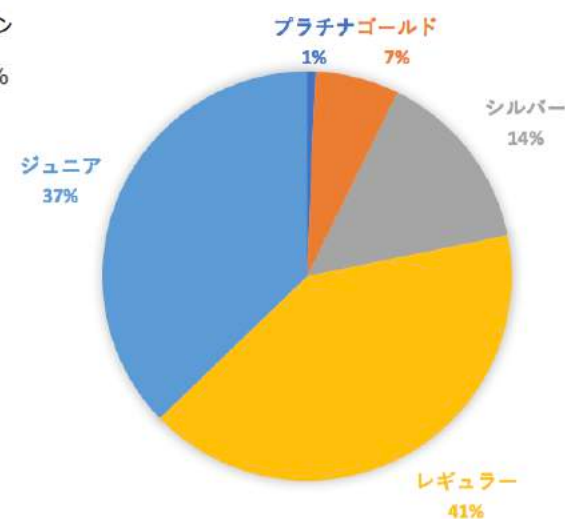
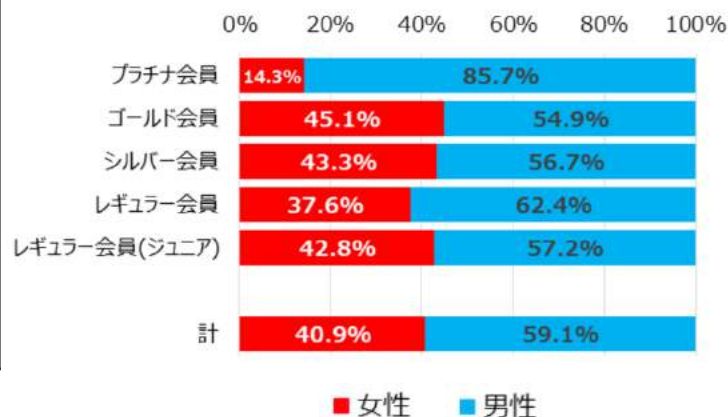


ファンクラブ会員数と種別

種別	年会費	会員数
プラチナ	100,000円	9名
ゴールド	30,000円	77名
シルバー	10,000円	176名
レギュラー	3,000円	587名
ジュニア	1,000円	331名
合計		1,180名

昨対比
110.2%

TEAMZ会員種別 ※2017-2018シーズン



2018-19シーズン レビュー

戦績

B.LEAGUE 2018-19シーズン (2018年9月30日～)

【個人成績】

アシスト

B2 5位 #14 柏倉哲平 5.4アシスト

順位	チーム名	勝	敗	勝率	ゲーム差
1	信州ブレイブウォリアーズ	48	12	0.800	-
2	Fイーグルス名古屋	41	19	0.683	7
3	西宮ストークス	34	26	0.567	7
4	アースフレンズ東京Z	22	38	0.367	12
5	金沢武士団	21	39	0.350	1
6	八王子ビートルズ	11	49	0.183	10

※2017-18シーズン B2・中地区 6位



古田 悟
(2018-19シーズン ヘッドコーチ)

1994-2006 日本代表 (13年連続)
1995 ユニバーシアード 銀メダル

世界に挑む ～海外への挑戦～

2015年夏、斎藤卓ACがシアトルへ渡米。『Nippon Tornadoes』に帯同。

Jasen Baskett氏の指導方法を学び、『Seattle Basketball Pro-Am』にチームとして参戦。

2016年夏、#35高山師門選手がNBA下部Dリーグのナショナルトライアウトに参戦。

115名中20名が選考通過できる部門へ唯一の日本人として残る。

2017年11月、東頭俊典ACがイタリア・ミラノへ。ファブリチオコーチのもとコーチングを学ぶ。

2018年3月、東頭俊典ACがユタへ渡米。NBAユタ・ジャズに帯同。

2018年7月、斎藤卓SDがラスベガスへ渡米。

2018年11月、東頭俊典ACがギリシャへ。オリンピアコスBCに帯同。



Zgirls

選手&チア (一部ご紹介)



#1 増子匠



#9 久岡幸太郎



#14 柏倉哲平

世界ランク11位
オーストラリア代表



#21 ダニエル・ジョンソン



#92 村越圭佑

日本代表チアに選出
Akatsuki Venus



Zgirls next

ゲーム当日の流れ



12:00 開場

待ちにまった開場です。
ファンクラブ会員は先行入場の特典があります。



場外イベント

会場外にはキッチンカーの他、こどもから大人まで楽しめるワークショップの開催も。



12:30 エキシビジョンゲーム

地元の小・中学生や高校生の選抜チームなどが、プロのコートで公開試合を行います。



14:00 オープニングショー

アースフレンズ東京Zの試合前には
専属チアリーダー「Zgirls」が観客のボルテージを上げて
試合を盛り上げます。



14:25 選手紹介

両チームの選手紹介
応援キッズが選手をコートに送り出します。



15:00 ティップオフ！！

いよいよ試合開始です！
勝利に向かって「Go! Win! Z!」コールで応援しましょう！



15:40 ハーフタイム

特別ゲストやZgirlsのパフォーマンスで
試合の間もお客様を楽しませるイベントを実施しています。



16:00 後半開始

後半の20分が始まります。
あとは勝ちを信じて、応援あるのみ。



17:00 試合終了

終了後も冠パートナーや出演団体などの皆様と選手たちが
記念撮影を行います。



17:20 選手交流イベント

応援に来てくれた一般のお客様と触れ合う場所を
提供しております。

パートナー

トップパートナー



(株) オープンハウス

プレミアムパートナー



ミツフジ(株)



(株) 巴商会



iCureテクノロジー (株)



(株) BOKURA



(株) アイレップ



リノ・ハピア (株)



(株) ECスタジオ



進栄興業 (株)



(株) あしたのチーム

パートナー

オフィシャルパートナー



(株) ボルトン



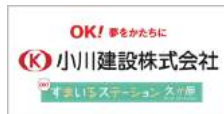
宝興産 (株)
(エミリーズバルーン (株))



(株) シティ・ハウジング



RPAテクノロジーズ (株)



小川建設 (株)



BOATRACE平和島



芝信用金庫



(株) ビジネス
ナビゲーション



東邦ハウジング (株)



(株) 東京メガネ



寺岡オートドア (株)



(株) 花印粧業研究所



タビックスジャパン



(株) セイブ



南信ビルサービス (株)



(株) ステータス



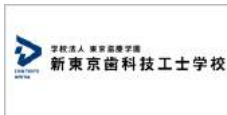
(株) セルビス



(社) A-wear協会



学校法人滋慶学園
東京スポーツ・
レクリエーション専門学校



新東京歯科技工士学校



新東京歯科衛生士学校



(株) プロGRESS



(株) 東京ドームスポーツ



セメダイン (株)



(株) くらしの友



東急病院



(株) 東化工



アルス



長生学園



小川畜産食品 (株)



ユニインフォメーション (株)



VOLSWAGEN池上



玉田実業 (株)



増田電気 (株)



神保電気 (株)



(株) ベストサポート
システムズ



イノベーション
アールイー (株)



(株) キュラズ



まつ歯科クリニック



(株) ファミリーマート



(有) 佐藤内装



東邦自動車 (株)



さつまっこ (有) 吉中商事



グッド商事 (株)



(株) キタセツ



(株) シャイン



(株) あいりす



日本ライフライン (株)



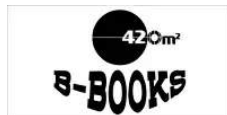
(株) Natural Body Space



(株) POOLDUCK



(株) エイチエヌディー・プラス



(株) リペア B-Books



びあ (株)

(株) FOOTOP

(株) ボピンズ

(株) オズタック

ティオスグループ

パートナー

アースフレンズカップパートナー



日本工学院

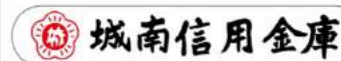
アカデミーパートナー

社会と共生する樹でありたい。



ソシオークホールディングス（株）
（ソシオークグループ）

地域連携パートナー



城南信用金庫

メディアパートナー



（株）PR TIMES
ニュースサービス日経

オフィシャルサプライヤー



協和企業（株）



Team + SPEC



東京麒麟ビバレッジサービス（株）



リコージャパン（株）



（株）ピアイシィ・バイオ



（株）JVC KENWOOD



（株）サンテレコムジャパン



光写真印刷（株）



（株）寺岡製作所



東邦大学医療センター大橋病院



（株）ナカダイ



（株）ES-ROOTS

田中屋製菓（株）

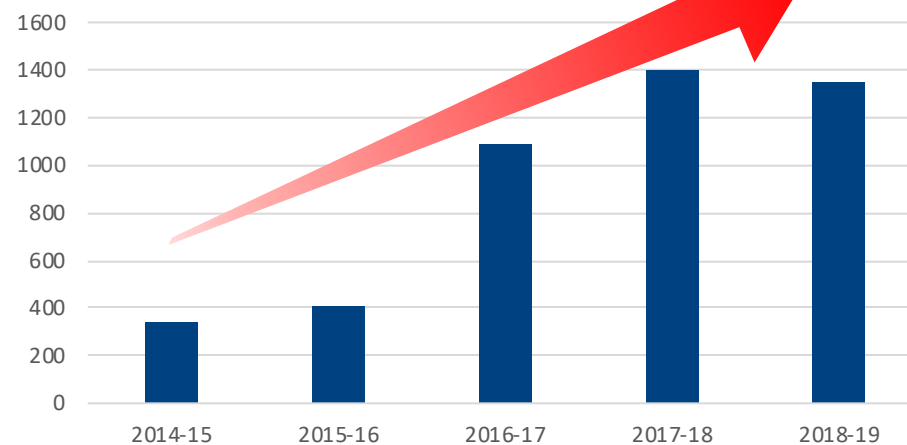
『the Z club』とは、チームの活動に賛同いただき、ご支援いただいている企業様です。

リペア株式会社	株式会社トリプルダブル	株式会社スコープ	株式会社豊田商店
三喜屋畜産商事株式会社	小柳商事株式会社	株式会社日本生科学研究所	内外化学製品株式会社
日本流通倉庫株式会社	株式会社ワイズ	ホテルビスタ蒲田 東京	高津伝動精機株式会社
神命大神宮	三信交通株式会社	大成温調株式会社	有限会社高橋総合食品本舗 穂寿庵
株式会社エステック	株式会社木村工業	株式会社RISE	エビナ電化工業株式会社
株式会社河津建設	ニッカル商工株式会社	有限会社ミナガワ	株式会社三菱UFJ銀行
株式会社創樹	株式会社マックス	株式会社志村精機製作所	グランデュオ蒲田
株式会社エヌエフエー	TOPBOY蒲田店	東急プラザ蒲田	トキ・コーポレーション株式会社
醍醐ビル株式会社	蒲田東口商店街商業協同組合	株式会社中村商会	共立信用組合
サンユー建設株式会社	株式会社平塚住宅	東京マルコメみそ販売株式会社	藤東造園建設株式会社
株式会社東辰	サンライズ・サンロードアーケード街	株式会社酒井製麺	今井パッケージ企画株式会社
株式会社共進エキスプレス	医療法人社団明朋会 増田外科	丸澤機工株式会社	損害保険ジャパン日本興亜株式会社
平賀機械工業株式会社	株式会社加登屋	セノー株式会社	DAIKIN
株式会社ヘルシーナビ	国際クリーニング株式会社	株式会社カワベ	さわやか信用金庫
株式会社井上製作所	株式会社リサイクルネットワーク	城南メタル株式会社	蒲田東邦医大通り商盛会
高輪 zeroes 株式会社	株式会社谷田部建設	有坂弁栓工業株式会社	日本ウィントン株式会社
株式会社ヒロオ	日産温調株式会社	株式会社佐藤熔工	株式会社夫婦橋薬局
ミクロ株式会社	京浜港湾工事株式会社	株式会社日本デジタル通信	株式会社山元
株式会社馬里奈	軒先株式会社	有限会社日軽急送	梅屋敷通り商店街
城南運送事業共同組合	株式会社昭和製作所	大崎会計事務所	株式会社ファーストピース
日本X線検査株式会社	株式会社トーカンエキスプレス	株式会社高井造園	株式会社錦花園
株式会社宮地鉄工所	株式会社宮地鉄工所	あやめ商店会	大田区理容組合
大田浴場連合会	大森町共栄会	株式会社高野自動車用品製作所	株式会社成樹苑
株式会社みずほ銀行 大森支店	株式会社弘和電材社	有限会社今井造園	中央電気株式会社
株式会社DSC	尾山台商栄会商店街	日栄産業株式会社	株式会社麺食
株式会社ユナイテッドインボックス	ニュースサービス日経	萩中通り商店会	株式会社伊藤組
高木工業株式会社	株式会社アシスト	新妻精機株式会社	株式会社 グリーンリビング
株式会社リード	丸福商店	株式会社ときわ給食センター	株式会社GIA
東京シクネス株式会社	旭産業株式会社	増幸クローム精鍍株式会社	幸建設株式会社
株式会社ファインプラン	山銀産業株式会社	株式会社イワイ・プロデュース	

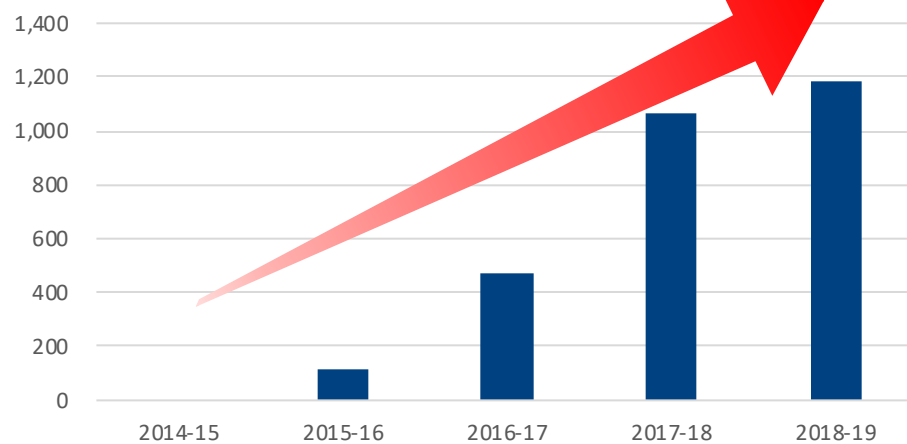
アースフレンズ東京Zの成長

2014年の創設以来、入場者数・ファンクラブ会員数・パートナー企業数は伸びております。

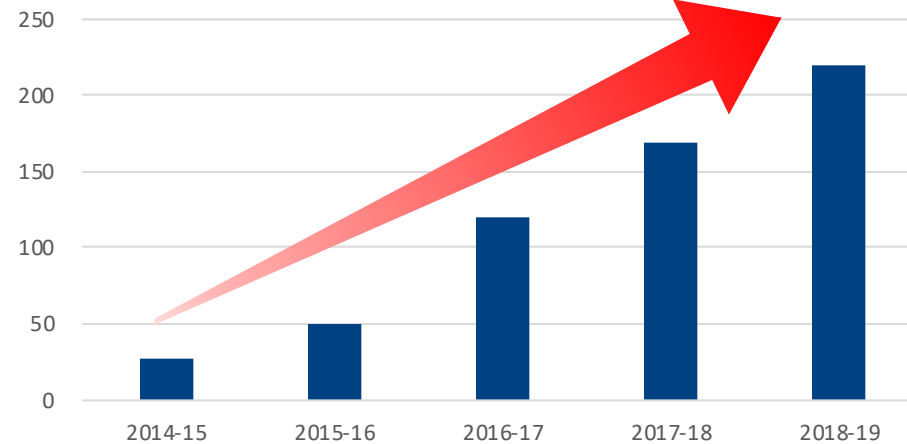
平均入場者数



ファンクラブ会員数



パートナー企業数



チームからの発信

公式サイト (eftokyo-z.jp)



ポスター/チラシ



ソーシャルネットワーキングサービス (SNS)

Facebook (フェイスブック)

twitter (ツイッター)

LINE

Instagram



「いいね！」数の推移	
2019年5月	5,572

フォロワー数の推移	
2019年5月	14,197

「友だち」数の推移	
2019年5月	1,183

フォロワー数の推移	
2019年5月	4,131

地方紙/地方版



2019/1/23 朝日新聞 朝刊

WEB



2019/2/17 福島民報



2016/11/16 日経新聞 朝刊



B-DASH×東京ZコラボCM（放送局TOKYO MX TV）

メディア露出

雑誌/フリーペーパー



月刊バスケットボール (5月号)



BASKETBALL SPIRITS



フジサンケイビジネスアイ



10/29 大江戸リビング

講演会



SPORTEC 2019 登壇



よみうりyell vol67
行政広報物



おおた区報



hangtime002号

その他



小野秀二 著

育成プロジェクト

U15 2018年4月よりU15が開始いたしました。同年8月、B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2018にて3位。
翌年3月には、B.LEAGUE U15 CHALLENGE CUP 2019で優勝を果たす。

B.CHALLENGE CUP
2019
優勝



岩井 貞憲
(2018-19シーズン ヘッドコーチ)

アカデミー

小・中学生を対象にバスケットボールアカデミーを開校。テクニックの向上のみならず正しい体の使い方などを指導。



キッズチア

2017年より東急スポーツ様と共同でZgirlsが教えるキッズチアクラスを開講。



アースフレンズカップ

大田区のバスケットボールの普及と発展に貢献し、地域に活力を与えることを目的とした、《アースフレンズカップ大田区高校生バスケットボール選手権大会》を2018年より開催。第1回・第2回、共に決勝戦は、東京Zの試合前に大田区総合体育館にて開催いたしました。



第1回 2018.4.1

参加校

☆優勝
大森学園高等学校

☆準優勝
日本体育大学荏原高等学校

東京実業高等学校
東京都立六郷工科高等学校
立正大学付属立正高等学校
東京都立大森高等学校
日本体育大学荏原高等学校
東京都立田園調布高等学校
大森学園高等学校

第2回 2019.3.31

☆優勝
日本体育大学荏原高等学校

☆準優勝
東京都立美原高等学校

東京高等学校
東京都立雪谷高等学校
東京都立大田桜台高等学校
東京都立つばさ総合高等学校
東京都立美原高等学校

社会貢献活動

城南エリアから応援されるチーム、東京全域で愛されるチームを目指します

アースフレンズ東京Zは設立以来、年間200回を超える地域貢献活動を実施してきました。

設立当初は、大田区総合体育館（京急蒲田駅）をホームアリーナとして、城南エリア（大田区、目黒区、品川区、世田谷区、渋谷区等）で活動をスタートしていきます。

チームの規模拡大に合わせ、ホームタウンも城南エリアから東京全域へと広がっていきます。

私たちのホームタウンから世界No.1選手が輩出され、オリンピック日本代表が金メダルを獲ることが私たちの大いなる目標です。

地域イベント・学校訪問 出演実績

(2018年7月～2019年6月)

地域イベント 80回以上
学校訪問 120回以上

年200回以上（3日に1回）の
出演実績がございます。

学校訪問

選手たちやアンバサダーが学校を訪問して、夢を持つことの大切さを講話したり、給食の時間を一緒にとるなど、子どもたちとのふれあいを通じて心身の教育に貢献しております。



地域イベント

大田区を中心に周辺地域で開催された地域イベントにも積極的に選手やチアが参加して盛り上げに貢献しております。



【主な実績】

- ・大岡山ウインターフェスタ
- ・大岡山さくらまつり
- ・おんたけこどもフェスティバル
- ・蒲田西口ダンスフェスタ
- ・大田区ガーデンパーティー
- ・大田スポーツ健康フェスタ
- ・池上盆踊り
- ・大蒲田祭り
- ・こらぼ夏祭り
- ・梅屋敷盆踊り
- ・雑色サマーフェスティバル
- ・池上祭り
- ・大井大森夢フェア
- ・田園調布グリーンフェスタ
- ・久が原末広商店街夏祭り
- ・汐風まつり
- ・OTAふれあいフェスティバル
- ・蒲田東フェスティバル
- ・大田区民スポーツ祭り
- ・二子玉川花水木フェスティバル

地域イベント年80回以上

など

パートナー企業との連携

各種企業イベント

パートナー企業が主催するイベントにも多数参加。またホームフェームでも企業とのコラボレーションイベントを実施。クライアントの企業価値を高め、地域経済の発展に貢献します。



【主な実績】

- ・オープンハウス 内定者研修対応（ホームゲームスタッフ参加）
- ・iCureテクノロジー株式会社 企業説明会&観戦ツアー
- ・株式会社アイレップ 社内運動会
- ・RPAテクノロジーズ 講演会
- ・株式会社シティ・ハウジング 社内決起会
- ・株式会社シティハウジング オーナー観戦イベント
- ・ミナトホールディングス株式会社 設立60周年記念謝恩パーティー
- ・城南信用金庫 城南CUP

- ・Z企業交流会&バスケイベント
- ・ファミリーマート コラボイベント（店頭イベント、パブリックビューイング）
- ・マチノマ大森 コラボイベント（パブリックビューイング）
- ・葉隠勇進株式会社 ホスピタリティバスケ教室
- ・キュラーズバスケ教室
- ・叙々苑 新入社員研修運動会
- ・株式会社あいりす小児障害児向け運動会&観戦イベント
- ・グランデュオ蒲田 選手トークショー

など

アースフレンズ（一般社団法人スポーツコミュニティージャパン）

バスケットボールの普及活動

関連団体である、一般社団法人スポーツコミュニティージャパンが運営する「アースフレンズ」では、社会人向けのバスケットボール練習会・スクール事業、その他イベントなどを開催し、日本のスポーツ文化の普及・強化に貢献しています。アースフレンズ東京Zから選手のコーチ派遣なども実施しています。東京・浜松・大阪の全国3都市で活動中。



練習開催数累計 750回/年
練習参加者数延べ 12,000名/年



株式会社GWC

〒144-0035

東京都大田区南蒲田1-22-20

POOLDUCKビル4F

TEL: 03-6892-4343 FAX: 03-6778-8167